

## トップニュース：NPO法人化第1回総会・記念講演開催！

去る5月21日、ROBAがNPO法人となって第1回目の定例総会が開催されました。午前10時半から始まった任意団体ROBAの会の解散総会、NPO法人ROBAの第1回定例総会もつつがなく終了午後からは都市交通研究家の服部重敬さんを講師に招き、「路面電車からLRTへ」というテーマで講演をして頂きました。また、中部運輸局の岩田部長からも講演をして頂き、ROBAへの力強いエールの言葉も頂きました。

服部さんの講演を簡単に要約すると、「低床の路面電車が即LRTではない。LRTとは都市計画と一体となって、（自家用車に引けをとらない）便利な交通機関を用意することでまちづくりをおこなうためのツール（道具）。バスでも不可能ではないがLRTの方が質の高い道具になるので近年欧米ではLRTを持っていることが住みやすい都市である証や象徴となっている。福井はJR高架化などを契機に中心市街地再生の動きがあり、福鉄やえち鉄の線路という活用できる資産がある。えち鉄を再生させたように県民の意識も高い。福鉄のLRT化は都市力を高める公共交通を活かしたまちづくりのきっかけとなる。」というところです。

予想以上に一般の参加もあり、LRTという概念がなかなか県民に伝わらない状況の福井において、服部さんの講演はたいへん貴重な機会となりました。（文：佐藤・清水）

### 活動報告

- 4月24日 4月定例イベント「越美北線奥越の旅」
- 4月26日 LRT部会
- 4月27日 MAP部会
- 5月2日 駅前商店街駐輪場問題申入れ（市）
- 5月8日 第3回理事会
- 5月13日～19日 県庁ホールLRTパネル展開催
- 5月20日～29日 サラダボウルLRTパネル展開催
- 5月21日 NPO法人化第1回総会  
記念講演会 講師：服部重敬さん
- 5月27日 月例会・理事会

### 今後の予定

- 6月12日（日）アースデイふくい出展
- 6月19日（日）バス停バリアフリーチェック  
説明会
- 6月24日（金）月例会・理事会
- 6月25日（土）人と環境にやさしい交通をめざす  
全国大会 in 宇都宮参加
- 6月随時 LRT部会
- 6月随時 MAP部会

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

「なせばなる民営化」JR東日本

松田昌士 生産性出版 1400円＋税

ISBN4-8201-1724-6 C2034

政治家たちが、どうして鉄道の行政からの助成にあれほど慎重なのか。京福存続運動の時は十分に理解できなかったが、「政治の失敗」「小選挙区制の失敗」「独占の弊害」「公務員の身分保障」といったところに問題があるのに、公的助成が問題のように理解している政治家が多いのは残念である。

この本の著者も、鉄道への公的助成自体は否定していない。ただ、民間でできる部分を民営化すること、地域の利益のための公的助成は地域が負担を選択できる仕組みが重要なのである。社会的公正と効率性の両立という問題を考えるにあたって、実例を踏まえた考えを提供してくれるいい本だと思う。（美濃部）



## 総会の様子

記念講演「路面電車からLRTへ」

講師 服部重敬 氏

- ・ 素敵な画像とすばらしい情報量でした
- ・ LRTの多様な魅力を紹介

中部運輸局 岩田部長

「福井のLRTを考える」司会 林 博



## NPO法人ROBAに思う・・・今こそ全国の魁に

念願のNPO法人格取得、ROBAにとっては画期的な事と言えますが、その反面では自主独立の責任と責務が伴ったと言えます。これまでの民主主義は、とすると権利ばかりの主張が多く、義務を伴う自己責任はその陰に隠れて気がつかず、これもあれもと権利を求めたような気がします。このことで、人間の求める基本的人権の拡張はめざましく、いろんな豊かさを得るための人権を獲得しましたが、個人のエゴイズムを助長したことも見逃せません。

今回のROBAは、このようなことから大きく脱皮し、自らの行動で自らの責任を全うし、自主独立、自立自尊を求めたことで、民主主義の本来的に求める団体になったと思われてなりません。

地方の時代といわれ、地方から発信する時代になったとか、国から独立して行動できるようになったとか言われていますが、はっきり言って国に金が無くなり、国民の金を当てにするしかなくなったからと思われてなりません。

このたびのROBAの行動は、そんな意味から言って自主独立、自立自尊の気概を強く持って、自己責任を果たしながらも、全国に先駆けた活動を示すことにより、福井の人間のすばらしさを全国発信する時と思っています。

門 善孝

## 総会を終えて・・・感じたこと

服部先生は、いま日本で、世界の情勢を見ながら本来のLRTを語れる数ある人の一人ではないでしょうか。我々も知らないことが多く、大変勉強になる講演会だったと思います。細かい内容は省きますが、私が感じたのは、日本の政治家、行政担当者、そして市民全体がヨーロッパ、アメリカの人達に比べ、公共交通に対する意識レベルが到底追いついていないということであります。いまだに「交通事業者」と呼ぶこと自体、発展途上かもしれません。根本的に何が違うのでしょうか？環境に対する意識でしょうか。例えば自動車産業で考えましょう。近年、ヨーロッパ諸国の新車の6割が二酸化炭素を激減できるディーゼルエンジンだと聞きます。もちろん日本のメーカーも、ヨーロッパではディーゼル車が売れるから開発に必死です。日本では、まだガソリン車が主流で、ディーゼル排気ガス問題の議論をしています。ようやくグリーン税制などの特典は作ったものの、市民が車を減らす、または乗りたくない意識を持つ抜本的な改革はいまだありません。

公共交通について選挙公約を謳った首長が日本にいるのでしょうか？移動手段すべての状況を見た上で公共交通をどうするのか？さて福井は？来年福井市も市長選挙があります。我々は少なくとも候補者の選挙公約に意識を持って投票する大切な時期ではないでしょうか。最後にROBAとして・・・何十万円～何億円までの公共交通改善策があります。まずは何十万の改善で我々には何ができるのか考えていかななくてはならないと思いました。

野田 哲生

## 解散総会・NPO 設立総会を終えて

ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA の会）が設立してからもう4年3ヶ月になります。大阪から帰ってきたばかりの私は都市計画に関する知識やまちづくりに関する知識がほとんどなく、設立当初は会員の方々に手取り足取り教えてもらいながら活動をしていました。ROBA の会の皆さんの福井のまちづくりに対する並々ならぬ熱意と情熱があったから、様々な成果を得ることができたのだと思います。

NPO の設立に至るまでの間に、私は大学院に復学をし、また結婚・出産という人生の中でも最も大きなイベントを迎えました。今は、家族に支えられながら、大学での研究に励んでおります。主婦、母親、そして研究者として日々を忙しく過ごしているため、なかなか普段の活動に参加はできていませんが、たまに子供を連れて会合に出席すると、会員の皆さんはとても暖かく迎えてくれます。ここにROBA の魅力があるのだと私は思います。総会にも子供連れで参加したのですが、お菓子をわざわざ買ってきてくれたり、指人形で遊んでもらったり、電車の歌をうたってもらったり…。電車が大好きな子供は、「ママ、電車、いっぱい～い！」ととても楽しそうでした。これからも、こうやって、いろんな世代の人が集える空間をつくっていかれたらと思います。いろんな立場や世代の人々が、福井のまちづくりについて真剣に考えることができる場をROBAでもどんどん提供していきましょう！

吉田 潤

# ROBAのきまま旅 その1 2005.4.24

第1弾は「奥越の遅い春を訪ねて鉄道&代行バスの旅」

新しくなったばかりの福井駅から越美北線と代行バスを乗り継いで桜が咲く中、残雪の残る九頭竜湖駅へ。

参加者 内田・畑・畑(姪)・高橋・脇本・脇本Jr・佐藤(報告)



new福井駅を出発



越美北線車内



代行バス車内



線路は続く・・・車窓から



荒島岳・・・車窓から



屋根の葺き替え作業(泉村)

作/漆崎 耕次

詳細はROBAホームページにアクセスしてください

## 編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「バス停は駐車場所じゃないぞ!そこの方!」

清水(副編集長)

「NPO法人もROBAの一步。これからも歩み続けます」

内田(発行責任者)

「ROBAニュースはNPO法人後も同じだよ」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>